

事業所名	グループホーム ほほえみの家 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成21年 1月 3日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 介護事業所管理者 資格・経験 ホームヘルパー2級 B:現職 介護支援専門員 資格・経験 ホームヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームは、JR中庄駅の北東に位置し、近くには学校や大型店舗等が多数ある。周りには、田畑が広がり、ホーム前の道路は交通量も少なく、散歩も安全に行える。利便性があり、且つ静かな環境の中で入居者は生活している。 ・歩いて数分の距離に医療機関があり、日常の健康管理はもとより、急な体調変化にも迅速に対応してもらえ、入居者・家族共に安心が得られる。 ・窓越しに太陽の日差しが燦々と射し込んでおり、自然な温もりを感じながら穏やかな気持ちで過ごせる。車いすでも利用しやすいように、トイレや洗面所・居間等ゆったりとしたスペースが取っており、高齢者の暮らしに配慮した造りとなっている。 ・2ユニットの中央に事務室があり、そこからは、両ユニットの入居者の様子や表情が良くわかる。 ・月1回の音楽療法(歌と楽器演奏)と週1回のアニマルセラピー(犬)を取り入れている。音楽や動物との触れ合いが良い刺激ともなり、入居者の生き生きとした表情や活性化した暮らしを支えている。百歳を超えた方が2名おられ、そのことも他の入居者への励みとなっている。 ・職員の異動がなく、馴染みの職員による日常的な支援は入居者の気持ちを安定させ、家族も安心して任せられる。ホーム内には、ゆったりとした時間が流れており、皆さんの表情も穏やかで明るかった。 ・住み慣れた馴染みのある環境の中で、その人らしく最後まで暮らしてもらえよう、終末期に向けた支援体制を整えている。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・特に改善する点は見られなかった。 日々状況が変化する高齢者の暮らしを支えるためにも、今後も、医療との連携、終末期に向けたケア、地域との連携等を強化し、より地域に根ざした地域に不可欠なホームとしてますます発展していかれることを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ここに入って良かった」と、入居者・家族共に喜んでもらえるケアの提供をめざしている。 ・その人らしく自由に暮らせるよう、入居者の安全・安心に配慮しながら、快適に暮らせる場の提供に努めている。 ・家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活することにより、精神的な安定を保ち、心豊かな暮らしを送ってもらえるよう支援している。 ・職員の異動がないよう職場環境を整え、継続したケアを入居に提供し、入居者との信頼関係を築いていけるよう、入居者との日々の関わりを大切にしている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が日記り・気配りを常に行い、その日のスケジュールにとらわれることなく、入居者に自由に過ごしてもらえるように配慮している。 ・笑顔や笑い声の絶えない穏やかな生活が送れる環境作りに努めている。 ・入居者一人ひとりに丁寧に向き合い、話をじっくり聴き、入居者の言葉や態度での訴えを受け止め、信頼し安心して暮らしてもらえるように支援している。 ・排泄の間隔を把握し、自然なタイミングで排泄できるように支援している。下着等の交換も、入居者の尊厳やプライバシーに配慮しながら行い、ストレスや不安なく暮らしてもらえるように心がけている。 ・天気の良い日には散歩に出かけ、外気に当たりながら季節感を味わってもらい、外出の機会を積極的に設け、気分転換を図っている。また、家族の方が気軽にいつでもホームを訪れてもらえる雰囲気作りを心がけている。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の変容に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントにより、これまでの入居者の経験や生活を把握し、日々の関わりの中で入居者の思いや意向を言葉や表情、態度などから推し量り、やり甲斐や張り合いを持って取り組めることを探し、自分からしたくなるように働きかけている。 ・個人記録はロッカーに保管し、面会簿は個別に記入するものにする等、入居者のプライバシーに関することが他の方の目につくことがないよう留意している。 ・ホーム便りに入居者の写真や日頃の様子等の個人情報を掲載する際には、事前に家族から了承を得るようしており、入居者・家族の意向を大切にしている。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の知識習得を応援しており、研修に参加しやすいよう体制を整え、内部研修や外部研修等積極的に参加してもらえるようにしている。全職員が統一したケアを入居者に提供できるよう、ホーム全体で介護水準を高め、継続したケアを提供できるように取り組んでいる。また、接遇研修にも力を入れており、職員の温かい対応は家族の訪問も促しているように感じた。 ・入居者の持てる力を上手く引き出せるように取り組んでおり、常にサービス向上の意識を持って業務に取り組んでいる。また、入居者一人ひとりに目を向け、ホームでの暮らしを安心して楽しく過ごしてもらえるように努めている。 ・家族の意見を大切にし、入居者・家族の想いに応えられるよう、代表者・職員は日々協働して取り組んでいる。 		